

競技注意事項

本大会は2017年度日本陸上競技連盟駅伝競走基準および大会規定により行う。

1. 出場選手について

各区間の正式オーダーは、11月18日(土)10時00分～12時00分までの間に、原則、WEB申請システムより区間を入力し、大会本部に電話にて入力完了の旨、連絡をすること。

【中部連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/58>

【北陸連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/60>

《連絡先》 中部連盟…水谷事務局長携帯：090-1753-6887

北陸連盟…鶴園事務局長携帯：080-1964-2337

※システムより申請が困難な場合は、大会本部（伊良湖シーパーク&スパ）へ持参またはFAX（0531-35-1533）にて提出のこと。申請用紙は、ホームページよりダウンロードしてください。

2. 選手変更について

- (1) 11月18日(土)12時00分までに提出したチームオーダーの変更は原則として認めない。
- (2) 選手が故障・病気のため出場出来なくなった場合は、補欠をその区間の交代として起用する。この場合、大会当日の午前7時15分～7時30分までに審判長（大会本部）に届けて承認（許可）を得ること。

3. 「ビブス（ナンバーカード）」、「タスキ」について

- (1) 「ビブス（ナンバーカード）」は、1人2枚配布するので、ユニフォームの胸と背に競技役員にはっきり見えるように安全ピンでとめる。
- (2) 「タスキ」は、主催者側で準備するものを使用する。
- (3) 「ビブス（ナンバーカード）」および「タスキ」は、出場記念として贈呈する。

4. 招集（点呼）について

- (1) 選手招集所は、各中継所に設ける。
- (2) 招集（点呼）の方法は次のとおり。
 - ア. 第1区は、伊良湖クリスタルポルト入口横にて第1点呼（代理可）を行い、スタート地点にて最終点呼を行う。
 - イ. 第2区から第7区の第1点呼、最終点呼（本人）は中継所で行う。
 - ウ. 各区間とも、最終点呼は本人が行い、ビブス（ナンバーカード）をチェックする。

	第1点呼	最終点呼	出発予定時刻		第1点呼	最終点呼	出発予定時刻
第1区走者	8:00	8:50	9:00	第5区走者	10:15	11:00	11:16
第2区走者	8:35	9:20	9:35	第6区走者	10:50	11:35	11:52
第3区走者	8:55	9:40	9:56	第7区走者	11:15	12:00	12:18
第4区走者	9:30	10:15	10:29	フィニッシュ	—	—	12:55

5. 競技について

- (1) 選手の走行は、道路左側部分を原則とし、交差点では、交差点の中心から右に出ない。また、センターラインのある部分については、センターラインを越えないこと。および競技役員・警察官等の指示に従うこと。
- (2) 引き継ぎには、タスキを用いる。タスキは、肩から斜め脇下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前後約 50m は、手にもって走ってもよいが、引き継ぎ後は出来るだけ早く肩にかけること。
- (3) タスキの引き継ぎは、中継所より進行方向 20m の引き継ぎゾーン内で行い、手から手に確実に受け渡すこと。
なお、タスキを引き継ぐ選手は、競技時間になったら、競技役員の指示で「待機場所」に入り、走者が近づいたら、中継線より前方に位置すること。
- (4) タスキを渡し終わった選手は、速やかに左側へ寄るか、走路外へ出ること。
- (5) 車(自転車を含む)および人による伴走、飲食物の補給、その他の援助(助力)を行うことはできない。ただし、第 4 区のみ主催者で給水を実施する。給水場所、方法については監督会議で説明する。
- (6) 第 1 区走者の出発について
 - a. 出発時のコース順は、監督会議で決める。
 - b. 出発の要領は次の通りとする。
出発 5 分前、3 分前、1 分前、30 秒前、10 秒前、位置についての通告で出発線に並ぶ。
(3 分前に競技服装になること。)
- (7) レース中に走者が不慮の事故で競技を中止した場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。審判長の指示により次の走区から次走者を出発させる。この場合の出発時期は、最終順位の走者から 1 分後とし、オープン参加として扱う。総合記録は認めないが、無効となった区間以外の区間記録は認める。
- (8) 繰上げ出発は、各中継所において、先頭より 10 分間遅れた場合、その対象とする。
- (9) 各区間とも中間点、あと 1km 地点の表示を出す。
- (10) レース中に生じた事故については、救急医療のみ主催者側が行うが、事後の責任は負わない。医務係は車両にて随行する。
- (11) 関係車、報道車は原則として、選手の後方を走行する。選手との並走は禁止する。

6. 選手配置・収容について

- (1) 選手の配置、収容はバスで行う。バスを使用しないチームについては、事前に届け出ること。
- (2) 選手 1 人に対して 1 人の付添い者も選手収容バスに乗車することができる。

7. その他

- (1) 選手の衣類運搬車は随行しないので、走り終わった選手の衣類(着替え)は各チームで付添い者が事前に用意するか(次走者の衣類を着用するか)計画しておくこと。
- (2) 総合記録は、閉会式終了後、各チームに配布する。